

DataGrid: グリッド技術によるバイオ データベースの連携

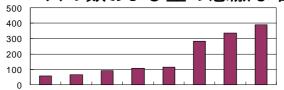
大阪大学 情報科学研究科 松田秀雄

生命科学がグリッドを必要とする理由

>>> biogrid project

- 生命科学はゲノムの登場によってdata driven/intensive scienceに変わりつつあ る
- 原子、分子、細胞、組織、さまざまなレベル でのシミュレーションが可能であるが、大 規模な計算パワーを必要とする
- 生命科学は歴史もあり、非常に多岐にわ たっているため、そもそも科学者の協調が 必要である
- 生命科学にまつわる大量の情報が世界中 に分散するデータベースで維持されており、 それらの連携が必要

ゲノムプロジェクトの成果によるデータベースの数および量の急激な増大



1996 1997 1998 1999 2000 2001 2002 2003^(年) Nucleic Acids ResearchのDB Issueでの論文数

Domain	No. of DBs
DNA	87
RNA	29
Protein	94
Genomic	58
Mapping	29
Protein structure	18
Literature	43
Miscellaneous	153

GenBankのデータ量の増大 http://www.ncbi.nlm.nih.gov/Genbank/ genbankstats.html

Current total: 511

Bio DB Catalog (DBCAT)への登録数: http://www.infobiogen.fr/services/dbcat/

多数のデータベースの利用法

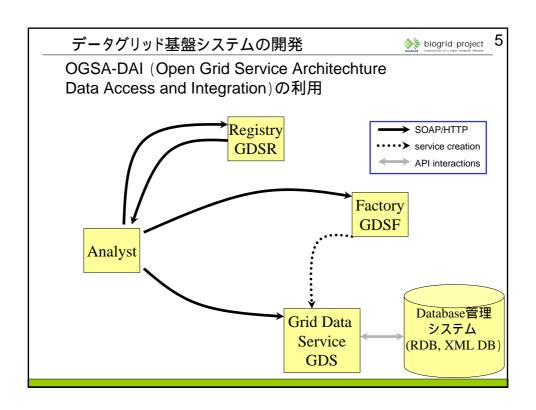


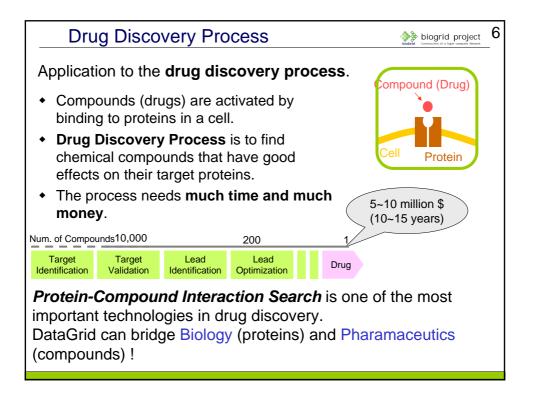
- ハイパーリンク結合(例:京大DBGET / LinkDB)
 - 既に多数のデータベースを連携する方法として実用的に運用されている。
 - ハイパーリンクに「意味」を持たせられない。
- 統合データベース(例: NCBIのEntrez)
 - 個々のデータベースを意識する必要がない。
 - 元のデータベースのスキーマの更新があると、統合のやり直しが必要。
- 異種データベース(例:スタンフォード大学のTSIMMIS)
 - データベースごとにラッパーを作成して共通形式へ動的に変換し、メディエータで相互の検索を仲介(スキーマ更新の影響は1つのラッパーのみ)
 - 生命科学特有のデータベース検索(例えば、配列ホモロジー検索や構造類 (収検索)と組み合わせることが困難。
 - 商用データベースの利用でのユーザ認証への対応が困難。

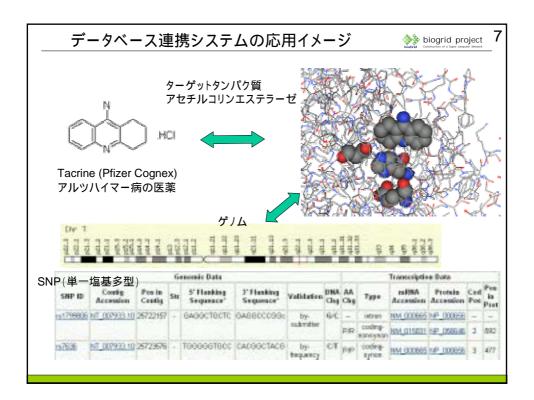
グリッドによるデータベースの連携(データグリッド)

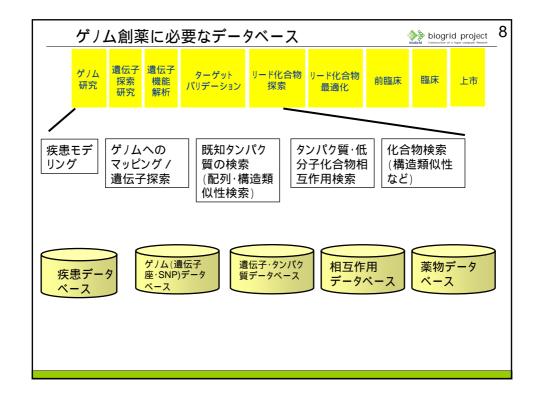
- データ検索の方法(キーワード検索、全体検索など)ごとにグリッドサービスを提供し、サービス連携によりデータベース間の相互参照を行う。
- グリッドの<mark>認証機構</mark>を利用して、各データベースの認証を一元化。

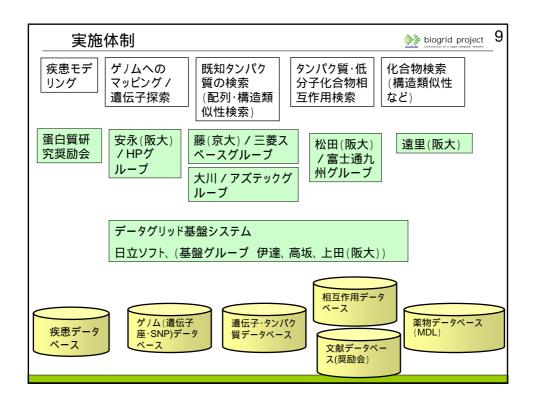
,

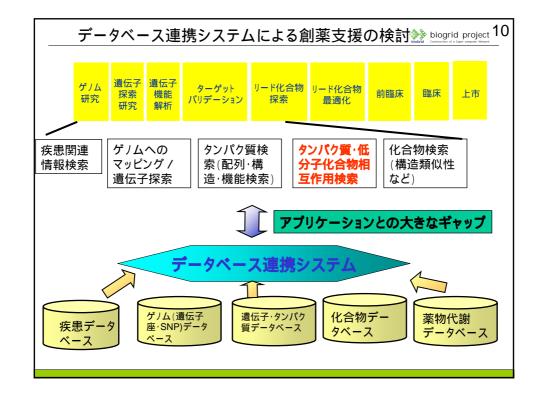


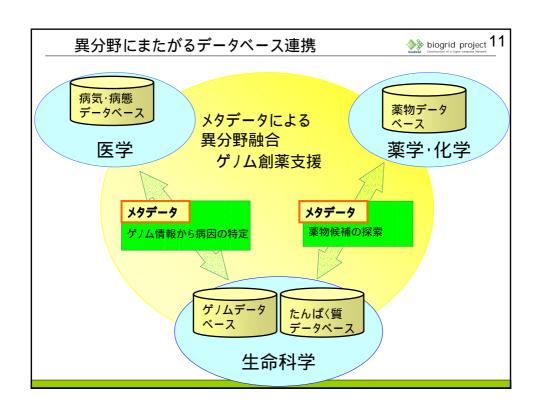


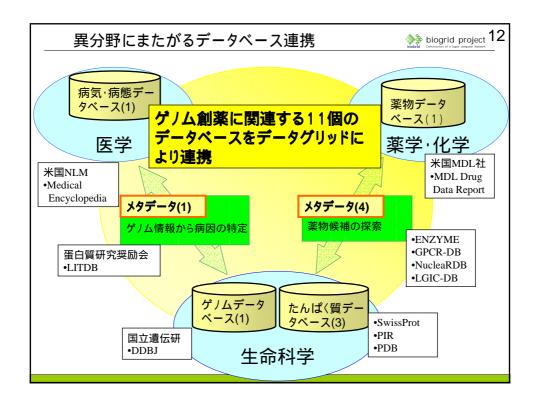


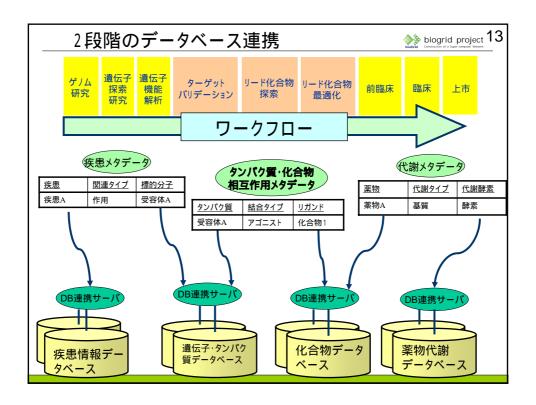


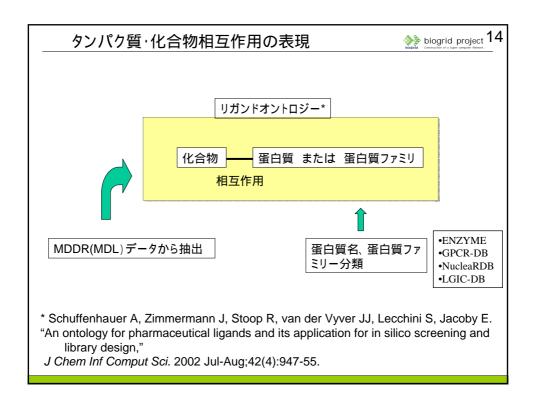


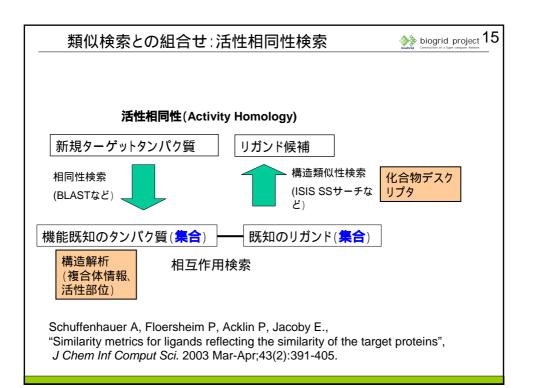


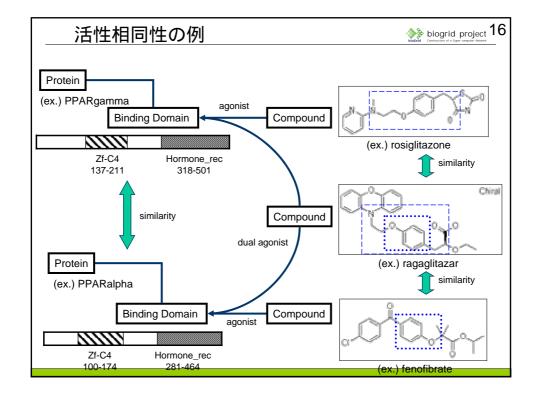


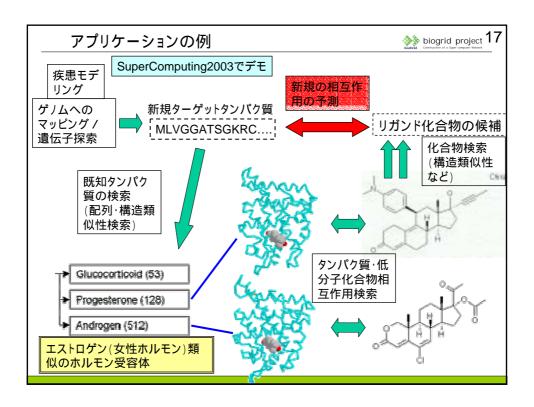


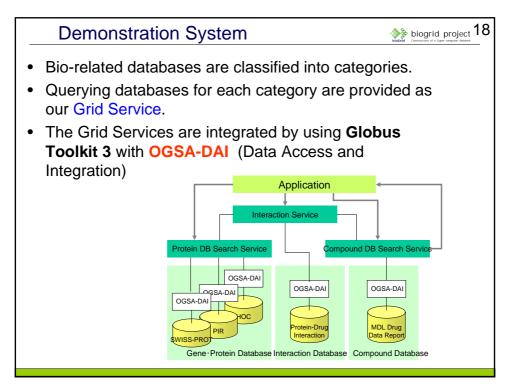


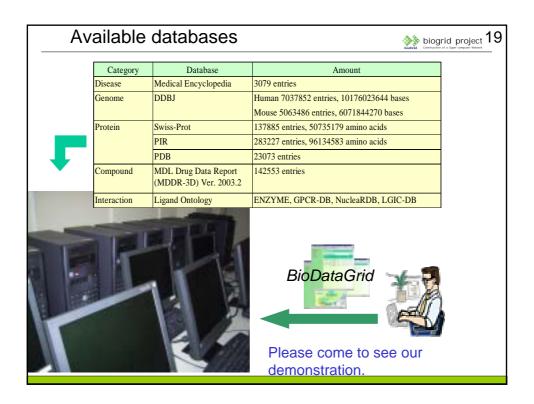


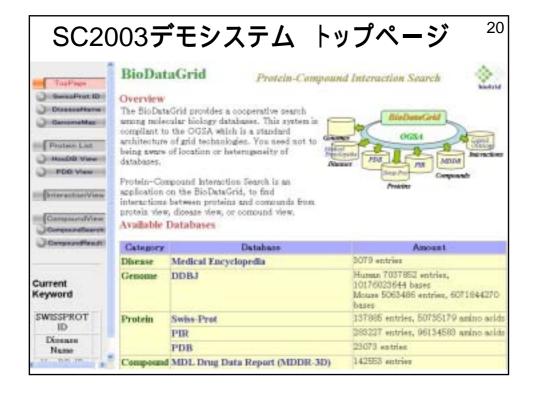












デモシステムで利用したデータベース

Disease

Medical Encyclopedia
3K entries
LITerature DB
(Protein Research
Foundation)

Protein

SwissProt 140K entries, 50M amino acids PIR 280K entries, 96M amino acids PDB 23K protein structures

Genome DDBJ:

DNA Databank of Japan Human 7M entries 10G nucleotides

Compound MDL Drug Data Report 14K compounds

Interaction ENZYME GPCR-DB NucleaRDB LGIC DB

22

デモシステムのソフトウェア構成

- 1. **Disease View**: Select a disease. Retrieve a protein (target protein) related to the disease.
- 2. Genome View: Check its genome location.

(adjacently-located genes may also be functionally- related)

- Homology Search View: Search for similar proteins against DB.
- Protein-Compound Interaction View: Extract compounds bound to the proteins (using proteincompound interaction metadata).
- **5.** Compound Search: Search for new compounds possibly-interacted to the target protein.



- Web上に散在する多数のデータベースを連携するデータグリッド技術を開発。
- ゲノム創薬支援を具体例に、疾患、ゲノム、タンパク質、薬物に関連した11個のデータベースを実際に連携することにより、個別のデータベースを意識させることなく相互のデータを動的に関連付けて検索できるシステムを開発し、SuperComputing 2003でデモを行った。
- 最新のグリッド技術であるGlobus Toolkit 3/OGSA-DAIをいち早く取り入れ、実用的な応用システムを構築することにより、データベース連携のためのデータグリッド技術の有効性を実証。

今後の課題

- 応用面:
 - メタデータの作成支援(統一的な概念記述、オントロジ)
 - ゲノム創薬の探索過程での統一的なスコアリングによる絞込み(優先度付き探索機構の実現)
- グリッド基盤技術:
 - セキュリティ技術の確立
 - 非同期検索(Notification機能)の利用
 - XML DBMS技術の確立